



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月12日
上場取引所 東

上場会社名 佐渡汽船株式会社
 コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 健
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土屋 亨 TEL 025-245-2311
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	8,829	3.2	41	—	△49	—	△120	—
29年12月期第3四半期	8,558	2.9	△147	—	△229	—	△259	—

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 △116百万円 (—%) 29年12月期第3四半期 △251百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	△8.45	—
29年12月期第3四半期	△18.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	15,352	2,234	11.8
29年12月期	15,584	2,353	12.3

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 1,811百万円 29年12月期 1,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	—	—	0.00	0.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年12月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,837	3.9	161	87.2	50	—	△1	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	14,275,450株	29年12月期	14,275,450株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	48,149株	29年12月期	87,149株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	14,207,801株	29年12月期3Q	14,175,708株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
(第3四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き堅調に推移しているものの、全国各地で発生した自然災害や猛暑等による景気への影響や、米中貿易摩擦による世界経済への不安の高まり等により、先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況の中、当社では安全運航の徹底とともに、営業施策として当社の若手女性社員によるSNSを積極的に活用した佐渡の魅力発信や、様々な船内イベント、ツアーの実施により船旅の魅力発信を行った他、インバウンドの誘致、週末やシニア層等に限定した航送運賃の割引拡大など積極的な営業展開を図りました。

輸送実績は、主要三部門のうち旅客、貨物はほぼ前期並みとなりましたが、7月～9月にかけて台風が当地方に相次いで接近した影響により旅行キャンセルが発生するなど、旅客輸送量は伸び悩みました。一方、航送輸送量については前述の営業施策を受けマイカー利用が増加し、乗用車換算で172,895台（前年同期比7.7%増）となりました。

売上高においては、4月以降、燃料油価格変動調整金2ゾーンを適用（前年4月～9月は燃料油価格変動調整金1ゾーンを適用）したこと、①海運にて後述のとおり当社航路の利用形態が変化したこと等により、前年同期を上回りました。一方、費用面においては、原油価格の上昇に伴い船舶や車両の燃料費が大幅に増加したことから、売上原価は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,829,478千円（前年同期比3.2%増）、営業利益は41,104千円（前年同期は147,645千円の営業損失）、経常損失は49,656千円（前年同期は229,748千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は120,041千円（前年同期は259,293千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、季節的変動が顕著であります。

①海運

当第3四半期連結累計期間の旅客輸送人員は1,167,527人（前年同期比0.1%増）、自動車航送台数は乗用車換算で172,895台（前年同期比7.7%増）、貨物輸送トン数は111,153トン（前年同期比0.0%増）となりました。

売上高は、佐渡観光にとって最盛期である7月～9月に燃料油価格変動調整金2ゾーンを適用（前年7月～9月は燃料油価格変動調整金1ゾーンを適用）したこと、また、平成29年4月1日より「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」に基づき、国及び地元自治体の補助を受けて佐渡市民旅客運賃（佐渡市民割引）を実施していることにより、ジェットフォイル利用の傾向が続いていることから、前年同期を上回りました。一方、費用面においては原油価格の上昇に伴い船舶燃料費が大幅に増加したことから、セグメント損失（営業損失）を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,040,909千円（前年同期比5.0%増）、セグメント損失（営業損失）は54,288千円（前年同期は202,224千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

②一般貨物自動車運送

前期の佐渡島内での公共工事に伴う資材輸送等の反動により、売上高は前年同期を下回りました。また、費用面においても原油価格の上昇に伴い燃料費が増加したことから、セグメント利益も前年同期を下回りました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,158,800千円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益（営業利益）は4,440千円（前年同期比65.2%減）となりました。

③売店・飲食

新潟港ターミナル内の食堂閉鎖に伴う売上高の減少があったものの、両津港ターミナル内の売店拡張に伴う売上高の増加が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は846,470千円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益（営業利益）は20,027千円（前年同期比898.4%増）となりました。

④観光

売上高は減少したものの、観光施設部門において前期に行った減損処理により減価償却費が減少したこと、パート等の削減により人件費が減少したことから、セグメント利益(前期はセグメント損失)を計上しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は599,999千円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益（営業利益）は20,971千円（前年同期は2,591千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

⑤その他

建物サービス業において清掃料収入及び施設管理収入が増加したことから、売上高、セグメント利益（営業利益）とも前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ232,384千円減少し15,352,526千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ217,795千円減少し3,671,654千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が166,530千円、たな卸資産が17,807千円それぞれ減少したことが主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ6,668千円減少し11,651,767千円となりました。これは、償却の進行に伴う減少があったものの、有形固定資産において建設仮勘定が177,879千円、無形固定資産においてその他が36,264千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ113,291千円減少し13,118,258千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ354,421千円増加し4,082,153千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が89,066千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が104,407千円、未払法人税が48,100千円、賞与引当金が140,577千円、その他が164,403千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ467,712千円減少し9,036,105千円となりました。これは、退職給付に係る負債が15,826千円、特別修繕引当金が57,196千円増加したものの、社債が410,040千円、長期借入金が113,256千円、その他が17,635千円それぞれ減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ119,093千円減少し2,234,268千円となりました。これは、120,041千円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月16日に公表いたしました業績予想を、平成30年11月12日に修正しております。修正理由につきましては、平成30年11月12日付「平成30年12月期通期（連結・個別）の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,848,577	1,857,651
受取手形及び売掛金	1,000,951	834,421
たな卸資産	827,089	809,282
その他	218,454	178,725
貸倒引当金	△5,622	△8,425
流動資産合計	3,889,449	3,671,654
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	5,484,706	5,329,060
建物(純額)	2,729,167	2,668,852
土地	1,738,812	1,738,812
建設仮勘定	113,380	291,259
その他(純額)	819,196	814,484
有形固定資産合計	10,885,261	10,842,467
無形固定資産		
その他	192,262	228,526
無形固定資産合計	192,262	228,526
投資その他の資産		
投資有価証券	182,518	180,458
長期前払費用	299,234	302,651
その他	99,212	97,717
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	580,912	580,774
固定資産合計	11,658,435	11,651,767
繰延資産		
社債発行費	37,026	29,105
繰延資産合計	37,026	29,105
資産合計	15,584,910	15,352,526

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	527,497	438,431
短期借入金	314,000	310,000
1年内償還予定の社債	420,040	410,040
1年内返済予定の長期借入金	1,791,570	1,895,977
未払法人税等	35,401	83,501
賞与引当金	48,848	189,425
その他	590,376	754,779
流動負債合計	3,727,732	4,082,153
固定負債		
社債	1,399,100	989,060
長期借入金	6,914,281	6,801,025
役員退職慰労引当金	62,722	63,288
退職給付に係る負債	832,288	848,114
特別修繕引当金	115,944	173,140
資産除去債務	27,627	27,258
その他	151,855	134,220
固定負債合計	9,503,817	9,036,105
負債合計	13,231,549	13,118,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	651,915	652,192
利益剰余金	442,291	322,250
自己株式	△40,210	△30,577
株主資本合計	1,897,131	1,787,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,133	24,674
その他の包括利益累計額合計	26,133	24,674
新株予約権	35,281	25,411
非支配株主持分	394,816	397,183
純資産合計	2,353,361	2,234,268
負債純資産合計	15,584,910	15,352,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,558,443	8,829,478
売上原価	7,986,704	8,081,277
売上総利益	571,739	748,201
販売費及び一般管理費	719,384	707,097
営業利益又は営業損失(△)	△147,645	41,104
営業外収益		
固定資産賃貸料	57,463	59,261
受取利息	147	108
受取配当金	4,238	5,129
その他	51,686	28,975
営業外収益合計	113,534	93,473
営業外費用		
支払利息	131,477	130,033
固定資産賃貸費用	28,371	31,818
その他	35,789	22,382
営業外費用合計	195,637	184,233
経常損失(△)	△229,748	△49,656
特別利益		
固定資産売却益	24,692	5,991
新株予約権戻入益	24,984	—
その他	—	89
特別利益合計	49,676	6,080
特別損失		
固定資産売却損	1,132	768
固定資産除却損	3,951	713
特別損失合計	5,083	1,481
税金等調整前四半期純損失(△)	△185,155	△45,057
法人税、住民税及び事業税	78,471	85,463
法人税等調整額	△12,603	△15,135
法人税等合計	65,868	70,328
四半期純損失(△)	△251,023	△115,385
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,270	4,656
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△259,293	△120,041

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△251,023	△115,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△688	△1,379
その他の包括利益合計	△688	△1,379
四半期包括利益	△251,711	△116,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△259,977	△121,500
非支配株主に係る四半期包括利益	8,266	4,736

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,754,248	1,177,483	829,972	625,084	8,386,787	171,656	8,558,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,544	232,093	19,139	297,763	551,539	143,458	694,997
計	5,756,792	1,409,576	849,111	922,847	8,938,326	315,114	9,253,440
セグメント利益又は損失 (△)	△202,224	12,775	2,006	△2,591	△190,034	21,088	△168,946

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△190,034
「その他」の区分の利益	21,088
セグメント間取引消去	21,301
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△147,645

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,040,909	1,158,800	846,470	599,999	8,646,178	183,300	8,829,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,611	263,101	30,537	316,999	612,248	147,331	759,579
計	6,042,520	1,421,901	877,007	916,998	9,258,426	330,631	9,589,057
セグメント利益又は損失 (△)	△54,288	4,440	20,027	20,971	△8,850	30,046	21,196

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△8,850
「その他」の区分の利益	30,046
セグメント間取引消去	19,908
四半期連結損益計算書の営業利益	41,104